



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1236  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,296	△1.1	8	—	6	—	2	—
2019年3月期第1四半期	1,310	0.1	△3	—	△3	—	△5	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △4百万円( —%) 2019年3月期第1四半期 △6百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.22	—
2019年3月期第1四半期	△0.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,212	1,217	22.6
2019年3月期	5,348	1,233	22.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,176百万円 2019年3月期 1,193百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	1.00	1.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	3.8	35	—	30	—	25	—	2.12
通期	5,400	0.6	70	148.2	60	193.8	45	△0.1	3.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期1Q	12,317,000株	2019年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	549,004株	2019年3月期	549,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期1Q	11,767,996株	2019年3月期1Q	11,768,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が見られるものの、製造業における生産については、鉱工業生産指数が横ばいとなるなど、弱含みの状態となっています。また、米中通商摩擦の長期化による中国経済の成長鈍化や欧米の政治動向など、海外経済の不確実性が高まり、国内経済の先行きも不透明な状況が続いています。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向のうち建設向は、第1四半期における新設住宅着工戸数が、23.4万戸(前年同期間比4.7%減)であり、利用関係区分で、貸家(賃貸住宅)の下落幅が14.9%減と大きく、賃貸住宅の施工不良の発覚や金融機関の融資厳格化に伴い、新設着工戸数は減少しています。また、鋼材等の資材価格や運賃等の高騰に対するエンドユーザーへの適正価格での販売は継続課題であります。

一方、電気・輸送機器向ネジは、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向のライセンス製品の需要は引き続き堅調に推移しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,296百万円(前年同四半期1,310百万円、1.1%減)、その内訳は建設・梱包向は24百万円減(2.4%減)、電気・輸送機器向は10百万円増(3.8%増)となりました。売上総利益は225百万円と前年同四半期に比べ5百万円(2.4%増)の増益となり、これは、主に建設・梱包向の輸入商品コスト等の低減効果によるものであります。営業利益は、販売費及び一般管理費の低減に努め、前年同四半期に比べ6百万円減少したこともあり、8百万円(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。経常利益は、6百万円(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税等を差し引いた結果、2百万円(前年同四半期は5百万円の損失)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する2×4等の木造の住宅着工は、前年同四半期に比べ、施工不良問題の影響もあり、大きく減少し、需要環境は厳しい状況が続いています。利益面は、鋼材価格、副資材価格等は高止っており、生産性の向上による製造コストの低減に努めましたが、その効果はまだ軽微であります。この結果、当セグメント売上高は、1,008百万円(前年同四半期1,033百万円、2.4%減)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ10百万円増の50百万円となりました。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向等は一部に国内回帰の動きも見られますが、全体的には海外現地調達化が定着しました。一方、内需ニーズとして、品質重視の傾向にあり、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向の付加価値の高いライセンス製品の需要は順調に推移しており、自動車のEV化により、ネジの需要は更なる増加が見込まれます。この結果、当セグメントの売上高は、287百万円(前年同四半期比3.8%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ0百万円減の10百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ・資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,212百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比136百万円減)となりました。流動資産は、前年度末に比べ113百万円減少し、3,263百万円となりました。これは、商品及び製品が66百万円増加しましたが、現金及び預金が141百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ22百万円減少し、1,949百万円となりました。これは主に、有形・無形固定資産の設備投資25百万円に対して減価償却費が40百万円であり、投資有価証券が当第1四半期連結会計期間末の株価の下落により、前年度末に比べ11百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

負債合計は、前年度末に比べ120百万円減少し、3,994百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ9百万円増加し、2,758百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が前年度末に比べ79百万円減少しましたが、短期借入金が前年度末に比べ34百万円、その他が未払賞与と役員未払賞与を計上したこと等により54百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ130百万円減少し、1,235百万円となりました。これは、長期借入金が前年度末に比べ128百万円減少したこと等によるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は前年度末と比べ93百万円減少し、2,684百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末に比べ15百万円減少し、1,217百万円となりました。これは、当第1四半期連結会計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円に対して、剰余金配当が11百万円あり、その他有価証券評価差額金が、株式の株価の下落により、前年度末に比べ8百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の22.3%から22.6%となり、1株当たり純資産は101.42円から99.96円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、建設・梱包向は、売上高は木造住宅のなかでも賃貸住宅の新設住宅着工の減少や施工不良問題等が影響し、当初予想を下回りました。また、利益面では、輸入商品コストの低減効果が見られるものの製造コストの低減効果は、第2四半期連結会計期間以降となります。第2四半期連結会計期間以降は、需要は前年並みに持ち直し、製造コストの低減効果も出始める見込みであります。また、電気・輸送機器向は、売上高・利益共当初の予想どおり推移しています。

上記の状況によりまして、2019年5月10日に発表いたしました2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては修正していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	590,559	449,410
受取手形及び売掛金	1,435,760	1,424,168
電子記録債権	165,494	157,607
商品及び製品	700,907	767,407
仕掛品	222,625	227,906
原材料及び貯蔵品	238,250	222,450
前払費用	12,001	14,010
その他	15,062	3,985
貸倒引当金	△4,002	△3,898
流動資産合計	3,376,660	3,263,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	430,870	427,750
機械装置及び運搬具（純額）	524,965	509,319
土地	733,542	733,542
その他（純額）	28,643	27,923
有形固定資産合計	1,718,021	1,698,536
無形固定資産		
ソフトウェア	53,014	56,293
その他	0	0
無形固定資産合計	53,014	56,293
投資その他の資産		
投資有価証券	89,368	77,786
長期前払費用	1,328	790
繰延税金資産	18,637	22,183
その他	103,795	105,580
貸倒引当金	△11,976	△11,961
投資その他の資産合計	201,154	194,380
固定資産合計	1,972,190	1,949,210
資産合計	5,348,851	5,212,257

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667,615	587,701
電子記録債務	234,757	239,826
短期借入金	1,654,025	1,688,976
未払法人税等	5,600	3,349
未払消費税等	10,516	18,217
未払費用	51,391	56,614
賞与引当金	32,278	22,497
役員賞与引当金	5,550	—
その他	87,646	141,755
流動負債合計	2,749,381	2,758,937
固定負債		
長期借入金	1,124,890	996,006
繰延税金負債	3,985	4,142
役員退職慰労引当金	46,370	37,685
退職給付に係る負債	186,935	193,973
資産除去債務	3,517	3,522
固定負債合計	1,365,698	1,235,329
負債合計	4,115,079	3,994,267
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	579,881	570,742
自己株式	△49,068	△49,068
株主資本合計	1,186,211	1,177,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,339	△698
その他の包括利益累計額合計	7,339	△698
非支配株主持分	40,220	41,616
純資産合計	1,233,772	1,217,989
負債純資産合計	5,348,851	5,212,257

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,310,343	1,296,045
売上原価	1,089,792	1,070,206
売上総利益	220,551	225,838
販売費及び一般管理費	223,820	216,988
営業利益又は営業損失(△)	△3,269	8,849
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	2,459	1,442
その他	1,772	961
営業外収益合計	4,234	2,407
営業外費用		
支払利息	4,159	4,272
その他	685	541
営業外費用合計	4,844	4,814
経常利益又は経常損失(△)	△3,879	6,442
特別損失		
固定資産除却損	8	1,334
特別損失合計	8	1,334
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,887	5,108
法人税、住民税及び事業税	768	928
法人税等調整額	△324	156
法人税等合計	443	1,084
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,331	4,023
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,371	1,395
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,703	2,628



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,331	4,023
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,652	△8,038
その他の包括利益合計	△2,652	△8,038
四半期包括利益	△6,983	△4,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,355	△5,409
非支配株主に係る四半期包括利益	1,371	1,395

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,033,585	276,758	1,310,343	—	1,310,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	6,933	7,095	△7,095	—
計	1,033,747	283,691	1,317,438	△7,095	1,310,343
セグメント利益又は損失(△)	39,390	11,677	51,067	△54,337	△3,269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	51,067
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△54,334
四半期連結損益計算書の営業損失	△3,269

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,008,884	287,161	1,296,045	—	1,296,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,214	3,214	△3,214	—
計	1,008,884	290,376	1,299,260	△3,214	1,296,045
セグメント利益	50,238	10,926	61,165	△52,316	8,849

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	61,165
セグメント間取引消去	△3
全社費用(注)	△52,312
四半期連結損益計算書の営業利益	8,849

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	883,916	△4.2
電気・輸送機器向	253,153	+10.8
合計	1,137,070	△1.2

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,033,530	△3.3	341,767	△2.7
電気・輸送機器向	267,658	△4.7	100,339	△21.5
合計	1,301,188	△3.6	442,106	△7.7

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,008,884	△2.4
電気・輸送機器向	287,161	+3.8
合計	1,296,045	△1.1

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	261,162	19.9	237,151	18.3

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。